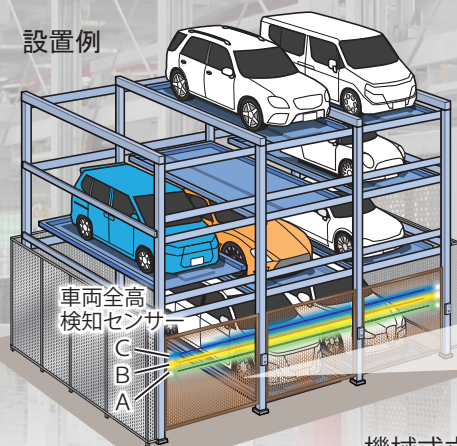


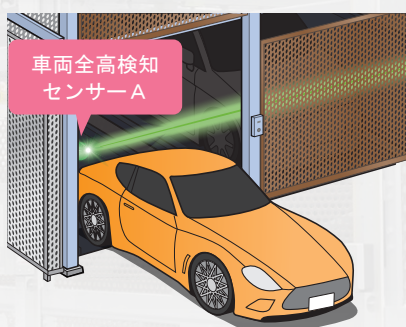
OPTION 車両全高検知センサー

パレットごとに設定可能な車両全高検知センサーを設置することで、入庫時の全高超過を検知し車両の破損を防止します。

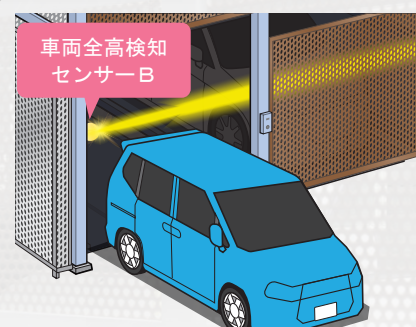
設置例



パレット①



パレット②



機械式立体駐車装置への入庫時に、車両全高超過を検知するセンサーを前方柱に設置します。車両全高検知センサー A, B, C は任意の高さに取付可能で、パレット毎にセンサー (A ~ C) の設定をすることができます。

※取付高さには一部条件があります。

今まで入庫時の車両全高検知センサーがなく、次のような不具合が起きていました。

誤入庫

代車
利用時



来客が
利用

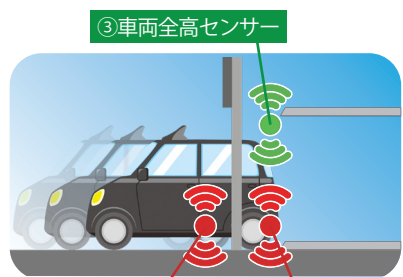
不具合例

- ・パレットの車両全高制限を超過した代車や来客車両入庫時の破損。
- ・車両全高制限の異なるパレットへの誤入庫による破損。
- ・機械式立体駐車装置の天井に干渉防止センサーを設置した場合、誤入庫による干渉防止機能の作動で次の利用者が入庫できない。



車両全高検知センサーのシステム

ステップ 1

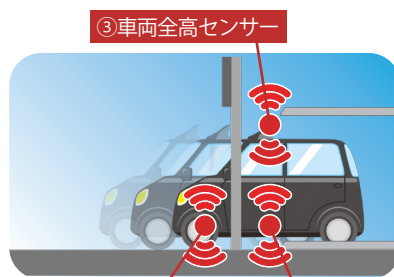


①人侵入センサー

②前車長センサー

①人侵入センサーから②前車長センサーの順番で、①②のセンサーを同時に遮光すると、呼び出しパレットの③車両全高検知センサーが検知を開始。

ステップ 2



①人侵入センサー

②前車長センサー

③車両全高検知センサーを遮光すると回転灯が点灯し、操作盤の警告表示と警告音でお知らせします。

POINT



①人侵入センサー

②前車長センサー

人の移動では①侵入センサーと②前車長センサーを同時に遮光しないので、人の通過による誤検知はしません。